

みぶ町政だより



12月号

昭和51年12月24日発行

発行所 栃木県王生町役場（毎月24日発行）

昭和34年9月30日 第三種郵便物認可 一部9円



鳳輦御神幸祭でにぎわう

11月29日午前11時から雄琴神社で氏子総代や稚児たち約300人が参加して「鳳輦御神幸祭」かにぎやかに行われました。

この行事は、毎年行われている雄琴神社例祭として、10数年ぶりにはじめてもので、今回2回目の催し物でした。

稚児たちは、主に来年小学校へ入学することとなり、きれいな衣裳をつけ、おかあさんに手をひかれ、雄琴神社から大通りなど、見物人の中を元気に歩きました。

今月の人口

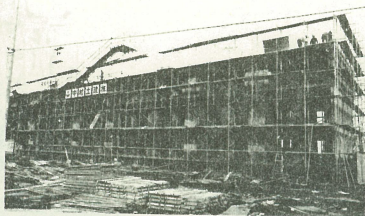
12月1日現在	対前月比
総人口31,712	103人増
男 15,737	64人増
女 15,975	39人増
世帯数 8,079	32世帯増

1月は「家族対話の月」です（家族そろって話し合しましょう）



盛大だった納涼盆踊り

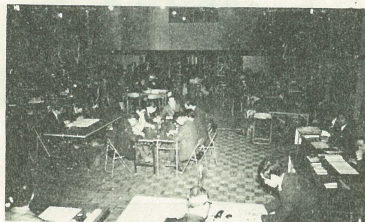
毎年恒例の納涼盆踊りは、今年は8月15、16日の両夜延べ1万人を超える見物人でにぎわいました。



町営住宅建設進む

昭和51年度の事業として、現在下台団地（壬生駅東）に建設を進めています。

3月末の完成をめざして、3階までコンクリートが打ち上がりました。2棟で40世帯が同居できます。



衆議院議員総選挙行

12月5日に衆議院議員総選挙が全国一斉に行われました。

本町では、予想以上の投票率で74.38%でした。

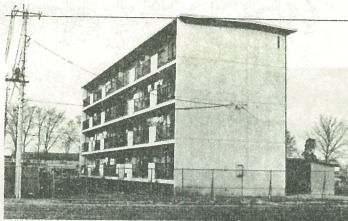
昭和五十一年もあとわずかに近づきました。もうすぐ新しい昭和五十二年を迎えることとなります。

さて、昭和五十一年は、景気が回復してはいるものの、物価の値上りが厳しい社会経済が続いていきます。

町財政も苦しい状況にありますが、経費抑制の中で大きな事業を勢いつけ努力しています。

なんとと言っても、人口増に対応するための設備投資にも大きな財源が要される中で、小学校の新設も行いました。

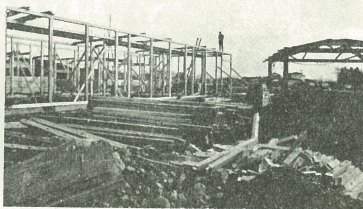
写真は、昭和五十一年の主な出来事です。



町営住宅ができる

昭和50年度の事業として、3月末に町営住宅が完成しました。

場所は、下台団地（壬生駅東）に初めて1棟が建ち、入居者も殺到。



第4保育所の建設はじまる

毎年入所希望の多い保育所が、このほど新設することになり、東下台の縄解地蔵尊東側に建設をはじめました。

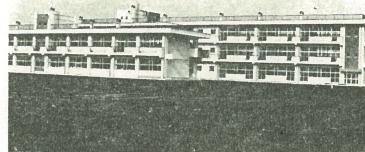
定員児童数60名で、来年4月から入所できるように工事は着々と進んでいます。

昭和51年を 小りかえって



おはやし大会ひらく

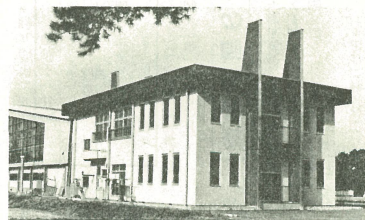
お花見にちなんだボンボリにかこまれた東雲橋下で、民俗芸能の後継者育成を目標に第3回おはやし大会が開かれました。



完成した睦小学校

来年4月から開校する睦小学校は、今や校庭の整地を完了し、生徒たちが入のを待つばかりとなりました。

この事業は、昭和50、51年度の最も大きな事業です。



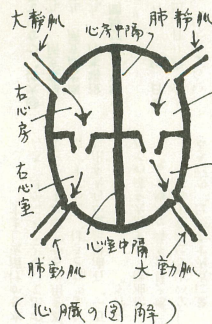
農村生活センターが完成

農村生活センターおよび総合運動場管理棟は、町民体育館の隣りに完成しました。

この施設は、文字通り農村の青年団や婦人会などが研修の場として、大いに利用されています。

昭和51年の主な出来事

- 1月○新年祝賀会を中央公民館で行なう。
○成人者 471人を迎え、中央公民館で成人式を開催。
○町政懇談会を中央公民館で開催。
○第6回青年団駅伝大会開く。
- 2月○新設小学校の建設はじめる。
○教育文化祭で模範生徒66名を表彰。
- 3月○昭和51年度の予算きまる。
○農村生活センターおよび総合運動場管理棟が完成。
○町営住宅が東下台に完成。
○下水処理場に前処理施設できる。
○農業後継者の新郎新婦を祝福する会を盛大に開催。
- 4月○第3回おはやし大会を東雲橋下で開催。
- 5月○船田知事が専生産状況を視察。
○消防団がボンパ操法の訓練行う。
○新設小学校の建設が50%できる。
- 7月○消防団が災害に備えて水防訓練行う。
- 8月○消防団夏季点検補整小校庭で行う。
○納涼踊り夕べ壬生小校庭で盛大に行う。
○郡民体育祭が都賀町を会場に行われ、準優勝を飾る。
- 9月○敬老会を各地区毎に盛大に行う。
○町営住宅の建設はじめる。
- 10月○新設小学校がほぼ完成。また、「睦小学校」と命名。
○おもちゃのまち連合自治会防犯組合が発足。
○第7回町民歩け大会「体育の日」に行う。
- 11月○11名の自治功労者を表彰。
○東雲児童公園内に慰霊碑がらに建立。
○第4保育所を東下台に建設はじめる。
- 12月○消防団通常点検が壬生小校庭で行う。
○衆議院議員の選挙が行われる。
○教育文化祭で模範生徒など88名を表彰。



(心臓の図解)

前回は、幼児の心臓病検査についてお話ししましたが、今回は幼児の心臓病の主なる原因について述べてみます。

今回と前回では、四つの先天性心疾患、生まれつき心臓に奇形のあるものについて述べてみます。

●先天性心疾患

幼児心臓病検査の大きな目的は、生まれつき心臓の奇形を発見し、学校上が前年手術等の処置や生活指導等ができるようにしてあげることです。

先天性心疾患は、児童、生徒で千人に一人位の割合で、幼児ではさらに少し多いと見えます。

(1)心室隔欠損症

これは左右の心室の間に生まれつき穴があいている病気で、先天性心疾患の中で最も多いと見えます。

大動脈は、動脈管開通とフォロア四徴についてお話しします。

先天性心疾患について(一)

幼児の心臓検査

先天性心疾患の十七・五パーセントほどあります。

軽いものは手術の必要がない場合もありますが、普通に生活ができて、そのまますくすくす育つ人もおり、穴が開いてくることがあります。

(2)心中隔欠損症

これは左右の心室の間に生まれつき穴があいている病気で、先天性心疾患の中で十パーセントほどあります。

これも割合に元気で、普通の生活ができます。

(3)心室中隔欠損症

これは左右の心室の間に生まれつき穴があいている病気で、先天性心疾患の中で十パーセントほどあります。



一足先に餅つき

—せせらぎ学園—

十一月二十一日の曜日、壬生町青年団協議会では、安塚にあるせせらぎ学園へ餅つきに訪問しました。

園児たちは、この日のくるのを待ちに待っていたかのように、全員が出席するといった喜び方でした。

この日は、土曜からはじまり、園児たちといろいろなゲームをやった。そのあと餅つきを行いました。

つき上がった餅は、青年団の人たちがボランティアで作った。あんこで、あんこ餅を試食して、園児たちは腹いっぱい満足そうでした。

正月のすこし方

子どもたちが楽しみに待っている休みが間近になりました。

冬休みは、過ぎ去った年間の反省や、新しい年を迎えるにあたっての希望や抱負をもたせるのによい機会です。

そこで、この冬休みをつぎのよいことに注意して意義あるものにしてほしい。

まず、学年の発達階梯に即して、その子なりの実践できる計画を立てさせたり、その子の個性をよりよく成長させるのに適した指導や抱負をもたせるようにしてほしい。

また、お正月になると、家族ぐるみで団らんや、親子の話し合いをするのによい機会です。ややもすると、家族の一員という自覚に欠けがちな子どもたちと、家族的な温かい人間関係を深めるようにしてほしい。

なお、この時期は、交通事故や流産が発生したり、危険な遊びによる怪けが多いと見えます。それに、休みの日のゆるみから問題や非行を引き起こすから、それぞれの家庭で十分注意するようにしてほしい。

そのほか、火災の多い時期でもあり、子どもたちの火遊びについても注意してください。

泣く前に笑ってしよう火の用心



ロマンスクラブが優勝

第十五回町営都宮紅電線奉獻式野球大会は、二四のチームが参加して、九月から三か月間におこなって県総合運動場を去場に熱戦が展開されました。

七回を勝ち抜いて決勝に進んだ壬生ロマンスクラブは、NCC(日本中央競馬会(宇都宮))と熱戦がひらけました。

試合内容は、ロマンスが三回に相手投手のけん制ミスを乗じて一点を先行、後半はチャンスを確認し得点に結びつけ、落合、植竹投手の継投でNCCを安打に抑え、結局六・〇で完封勝ちをしました。

これで、ロマンスクラブは、五年ぶりの一度目の優勝を飾りました。



優勝した玩具団地チーム

玩具団地チームが優勝



壬生駅前呼びかける

ボーイスカウトたち

ボーイスカウト下部員第一団(高田義雄委員長)およびガールスカウト栃木第十八団(森の委員長)では、十一月三日午後時から栃木警察署で協力して、少年非行防止を行いました。

この日は、ボーイスカウト二十四名とガールスカウト十二名計三十六名が、壬生駅やおもちゃのまち駅、シユーストア、東横ストアなどの人通りの多い所へ、手分けし、非行防止のポスターを配布したものです。

子どもを家庭で、あたたかく見守り、そして次のようなことを守りましょう。

少年非行防止に一役

・有害環境の浄化活動を広めよう

・少年に愛のひと声運動を広めよう

・少年の万引きを防止しよう

・シンナーなどの薬物乱用を防止しよう

・未成年者の飲酒や喫煙をなくしよう

定額貯金証書をお持ちの方へ

郵便局からみなさんにお知らせしてまいりました定額貯金の利息が有利になる手続きが済みです。

お取扱期間は、来年一月十三日までとなっております。

この手続きのお済みでない方は、いまぐお近くの郵便局へ申し出て下さい。

なお、この対象となる定額貯金は、昭和四十九年九月二十三日以前にお預けになったものに限りです。

タバコは

町内で
買いましょう

壬生郵便局

お知らせ



年末年始の

役場事務は

年末年始の役場事務は、次のとおりです。ご了承ください。
ただし、特別の戸籍事務（死亡届、死産届）などは行っております。

- 土曜二十八日、ご用納め
- 土曜二十九日、一月三日まで休ませていただきます。
- 一月四日、一用始め

ゴミ集めの
運休は

年末年始にかけて、町ではミ取集、処理および尿清掃作業を次のように休みますのでご協力ください。

●ゴミ処理作業の休み

1月の納税
お忘れなく
町県民税
第4期分

十二月三十日から一月四日までの六日間
●尿清掃作業の休み
十二月十八日から一月四日までの八日間
なお、休みの間は、ゴミや危険物は出さないようお願いいたします。
ゴミは、燃やさずか、燃やさないものは、空地に埋めるようご協力ください。

妊婦検診と
血液検査

●とき 一月十七日(月)
午後一時三十分から
午後一時三十分から

●ところ 母子健康センター
妊婦の方、また、結婚される方の血液検査も併せて実施しますのでご利用ください。
(無料です)

三カ月児検診

●とき 一月十九日(水)
午後二時三十分から

●ところ 中央公民館日本間
九月二十日から十月十九日までに行なわれます。

●母子健康手帳を持参ください。

一般健康相談

家族計画から成人病などの相談についてお気軽にお出願ください。

●とき 一月十八日(金)
十時から三時まで

●ところ 中央公民館保健室

訂正

十一月の「町政だより」で「ベージュの「自治功労者を表彰」の記事「川島又之助氏」は「川島又之助氏」の誤りでしたので、お詫びして訂正します。

当番医師のお知らせ

一月の日曜、祝日は、次の医師以外は番休診になります。

日	町名	医 院 名	電 話
一日	仲通町	木村 医院	(2) 0056
二日	上通町	渡辺 医院	(2) 1030
三日	東武第二	小倉 医院	(2) 1195
四日	城 内	陣内 医院	(2) 0242
五日	安 塚	佐藤 医院	(6) 0123
六日	安 塚	佐藤 医院	(6) 0123
七日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
八日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
九日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十一日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十二日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十三日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十四日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十五日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十六日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十七日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十八日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
十九日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十一日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十二日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十三日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十四日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十五日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十六日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十七日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十八日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
二十九日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141
三十日	城 内	佐藤 医院	(6) 0141

時間は午前九時から午後四時

鳥居家中興譜に
ついて

(その七)

松平行には、鳥居伊賀守（忠吉）と松平一郎右衛門をかわるがある置くことになっていた。
忠吉は、在番・岡崎城の仕事をすること、文いとは、職務に行て日夜、幼ない殿様竹千代を扶け育て、一度竹千代を岡崎城にお預けした。（註：竹千代は今川氏の命令で義元の近親お鶴姫を夫人として迎へ、お鶴姫を生れたので、祖先の墓参りをおねて、一度岡崎に来ることが出来た。忠吉は、御代（広忠をす）のよに竹千代岡崎城主になれらるも謀りごとめくらし、心の中構る思いのため、ゆつくり息をつくひまもなかった。
幼君（竹千代をす）も、また忠吉に、なれ親んでいつもそばに離れず、常に忠吉の膝によりかかって、祖父・おいと、呼び、竹千代になつていた。
諸代の人たちも伊賀守（忠吉をす）を一番大切な人として、その命をつけた。（註：松平竹千代が人質として駿府に居た頃は、竹千代の附人として、松平家の家

190